

令和7年11月27日

I はじめに

令和7年12月市議会定例会を招集申し上げましたところ、議員の皆様には御出席いただき誠にありがとうございます。

提出いたしました議案をはじめ、市の重要案件の審議につきまして、よろしくお願い申し上げます。

去る10月26日に行われました長野市長選挙におきまして、多くの皆様の御支持と御支援を賜り、引き続き、市長の重責を担わせていただくこととなりました。市民の皆様の期待と負託に応えるためにも、これから4年間、新たな決意をもって市政運営に当たってまいります。

II 二期目の所信

はじめに、二期目の市政を担当させていただく最初の定例会に当たりまして、私の所信を申し上げます。

これまでの4年間、あらゆる分野で多くの課題解決に向けた種をまいてきました。その種をこれからの4年間で花を咲かせ、しっかりとした果実として市民の皆様にお届けできるよう4つの分野、4つのテーマに沿って取り組んでまいります。

一つ目の分野は、「医療・福祉・子育て」であります。

テーマは、「未来を育み、今を守り、また未来へ」

市民が安心して生き生きと暮らし続けられるまちを目指し、福祉・医療体制の一層の充実に取り組み、市民の健康保持と増進を図ります。

また、子どもたちに夢や希望あふれる確かな未来をつなげ、安心して子育てできる環境の充実や子どもたちを応援する取組を推進し、教育環境の整備に取り組んでまいります。

以上の政策により、全ての世代が安心して暮らせる長野市をつくってまいります。

二つ目の分野は、「まちづくり・交通対策」であります。

テーマは、「人の輪が力を生み、その力が輪を広げる」

将来にわたり持続可能な地域の実現に向け、「孤立しない社会」、「共につながり合う地域」、「憩いと交流を生み出す場づくり」を起点として、それぞれの地域の「らしさ」や強みを伸ばしていきます。

また、誰もが移動できるまちをつくることで、暮らし・観光・経済を支える基盤を整えてまいります。

以上の政策により、地域コミュニティと絆の強化を図ってまいります。

三つ目の分野は、「経済振興」であります。

テーマは、「地域で稼ぎ、地元へ還す経済」

商工業の振興を図り、農業の高付加価値化に取り組み、力強い市内産業の基盤強化を図ってまいります。

また、本市にある、観光・スポーツ・文化資源をフル活用して、まちのにぎわいや市民生活の活力向上につなげてまいります。

以上の政策により、強くしなやかな地域経済の構築を図ってまいります。

四つ目の分野は、「地域・文化・スポーツ振興」であります。

テーマは、「備えが安心を生み、安心が挑戦を可能にする」

安全・安心なまちづくりを基盤として、既存インフラ機能のバージョンアップを図り、将来にわたり暮らしを守り続けられるまちづくりを進めるとともに、様々な世代から選ばれるまちづくりを目指してまいります。

また、将来にわたり安心して暮らせる長野市づくりを市民の皆様と共に進めていくため、市役所機能をアップデートし、持続可能な市民サービスの提供体制を整えてまいります。

以上の政策により、安全・安心な“まち”づくりを進めてまいります。

社会が大きく変化する中でも、本市が「選ばれるまち」となるため、長野市ならではの新たな政策や本市の強みを活かした戦略的な投資を引き続き積極的に行い、自主財源をしっかりと確保し、その財源を子育て支援や教育施策、高齢者福祉など、様々な施策に充てるサイクルを作ること、本市に暮らす全ての皆様が、安心や幸せを実感できる長野市にしていきたいと思います。

Ⅲ 財政運営

次に、財政運営について申し上げます。

政府が今臨時国会に提出する国の総合経済対策に基づく対応案につきまして

は、本市におきましても、その動向を注視し、県及び各省庁からの情報取得に努め、市民の暮らしの向上などにつながるよう、最大限に必要な経費に係る財源を確保してまいりたいと考えております。

次に、本定例会に提出いたしました一般会計補正予算案の主なものにつきまして、その概要をご説明申し上げます。

まずは、子育て世代の経済的負担を軽減するための取組といたしまして、本市では、学校給食の食材費について、令和4年度から物価上昇分を公費負担しているところですが、令和8年1月以降、学校給食用の米価格の大幅な上昇が見込まれていることから、保護者に追加負担を求めることなく、これまでどおりの栄養バランスや質・量を保った学校給食を提供できるよう、上昇分を賄うための費用を補正予算案に計上いたしました。

次に、生活介護や就労支援などの障害福祉サービスに係る障害者介護給付費等について、サービス利用件数が当初の想定を上回ることが見込まれることから、給付費を増額する費用を計上しております。

このほか、適正な工期を確保するための繰越明許費及び、ビッグハット長寿命化改修やシステム標準化への対応、指定管理者の更新に伴う指定管理料など、来年度以降の事業の早期執行や施工期間の平準化等を図るための債務負担行為の設定を行っております。

次に、令和8年度当初予算について申し上げます。

本市の財政状況は、現時点では健全な状況を維持できているものの社会保障関係経費や公共施設長寿命化対策、人件費の大幅増などの影響から、今後は厳しい状況が見込まれております。

二期目の所信でも申し上げましたが、こうした中においても、本市の強みを活かした戦略的な投資を積極的に行い、経済基盤の底上げを図ることにより、財源の確保に努めていく必要があると考えております。

そこで、令和8年度予算においては「市民が安心して暮らせる環境の充実・魅力あるまちづくりの推進と持続可能な財政運営」を編成の基本方針とし、現在、編成作業を進めております。重点テーマとして掲げた「こども若者・子育て」「地域・暮らし」「観光・まちづくり」の関連事業に加え、私の公約に掲げた基本政策に関する事業の実施に向け、予算を重点的に配分してまいります。

IV 市の動向

続きまして、本年度の主な施策・事業の動向について申し上げます。

まず、台風災害からの復旧・復興及び防災・減災対策について申し上げます。

（仮称）長沼総合市民センターにつきましては、今月、建設工事の実施設計業務委託契約を締結しました。今後、地元と協議を行いながら、建物の設計業務を進めてまいります。

信濃川水系緊急治水対策プロジェクトにつきましては、本年 10 月に開催された信濃川水系 信濃川上流 流域治水協議会において、同プロジェクトのロードマップが約 4 年延伸されると国から報告がありました。

引き続き、国や県には 一日も早い工事完了を、今後も粘り強く要望していくとともに、本市としましても、プロジェクトに位置付けられている「塩崎遊水地の早期完成」に向けて積極的に協力してまいります。

このほか、住宅耐震対策につきましては、長野市耐震改修促進計画が本年度をもって計画期間満了となるため、計画期間の延長と計画の見直しを進めているほか、道路や農地等の防災対策につきましても着実に進めており、引き続き、災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。

次に、「子育て支援・教育の充実」に向けた施策・事業について申し上げます。

長野市こども計画につきましては、子ども・子育て関連施策と若者を支援する施策を体系的に整理するもので、現在、若者に関する計画について、社会福祉審議会児童福祉専門分科会にて議論を重ねていただいております。

11 月 21 日から計画案に対するパブリックコメントを実施しており、市民の皆様からの御意見を参考に計画の策定に取り組んでまいります。

部活動の地域展開につきましては、スポーツ活動は本年度末、文化芸術活動は令和 8 年度末を目途に、地域クラブ活動への発展的転換を進めております。

スポーツ活動の展開が進む中、文化芸術活動についても、各中学校で文化祭を終えた秋以降、地域展開が順次進んでおります。

今後も、地域や関係する皆様の御協力をいただきながら、子どもたちが将来にわたって多様な活動に親しめる環境整備を丁寧かつ着実に進めてまいります。

本年度、新たに開始したアントレプレナーシップ教育につきましては、チャレンジ精神やコミュニケーション力など、非認知能力の育成につなげるため、子どもたちが自ら課題を見つけ、他者と協働し解決策を探究する活動を

進めております。

推進校では、地域に伝わる伝統野菜を題材にしたグループが、探究活動を通じて、その魅力を再認識し、誰でも食べやすいお菓子作りに挑戦しました。

今後は、このような活動や事例を各校に展開・共有し、子どもたちが新しい一歩を踏み出し、未来を切り拓く力の育成に取り組んでまいります。

続きまして、「安心して暮らし続けられるまちの実現」に向けた施策・事業について申し上げます。

長野駅を中心としたまちづくりにつきましては、昨年から県と調整してきた「長野市まちづくり研究会」の来年1月の初開催に向け準備を進めております。

研究会では、「県都・長野市に人が集う魅力あるまちづくり」をテーマに、経済金融、都市デザイン、交通の各分野の委員の皆様からの御意見・御提案をいただき、長野駅を中心とした未来のまちづくりについて研究してまいります。

住民と市との協働によるまちづくりの推進につきましては、10月31日に住民自治リフレッシュプロジェクト「地区ドック」のスーパーバイザーである東京都立大学の大杉覚教授をお招きして、住民自治協議会との懇談会を開催しました。懇談会では、大杉教授に住民自治協議会の将来像を考える際の着眼点について講義をいただき、意見交換を行いました。

また、中山間地域への支援につきましても、今後、本年度2回目の中山間地域のあり方研究会を開催し、中山間地域の将来像について、中長期的な方向性を議論する予定であります。

引き続き、住民自治協議会等の皆様の声を聴きながら、地域の実情に応じた支援を進めてまいります。

公共交通の確保につきましては、廃止バス路線の代替として10月から新たに運行した乗合タクシー3路線を順調に御利用いただいております。来年4月から運行する市営バスにつきましても運行事業者が決定し、運行開始に向けた準備を進めており、運賃等の関係条例の改正について、本定例会に提出しております。

フレイル予防及び認知症施策につきましては、長野市医師会との共催で、「長野市モデル（仮称）元気UPプログラム」を作成し、6月から9月まで試験的に実施しました。これは、ストレッチや筋力トレーニングのフレイル予防に加えて、有酸素運動やゲームなどの知的活動による認知機能の維持を図るもので、試行の結果、体力面や認知機能において、良い結果が得られております。

今後は、この「(仮称) 元気UPプログラム」の本格実施に向け、長野市医師会と連携し、実施体制や普及啓発の方法などを、具体的に検討してまいります。

医療体制の確保につきましては、感染症の流行などによる休日緊急医の混雑解消や休日緊急医師の高齢化と減少に対応するため、12月から来年2月までの間、日曜日・祝日・年末年始にオンライン診療を試験的に導入します。

オンライン診療は、スマートフォンなどでビデオ通話を行い、自宅に居ながら医師の診察を受けることができるもので、対面による診察を補完するものとして実施します。

利用者の皆様にアンケート調査を行うほか、医師会、薬剤師会など関係団体と効果を検証し、今後のオンライン診療のあり方を検討してまいります。

引き続き、休日緊急医を含めた初期救急医療の安定的な運営に努めてまいります。

アイススポーツの推進につきましては、「興行」、「普及」、「競技力」の3つの要素それぞれをバランスよく推進するため、現状分析と戦略の策定を進めております。また、オリンピック開催都市として、多くの子どもたちにスケートの楽しさを体験してもらうため、シーズンを通して小中学生のエムウェーブの滑走料金を無料としているほか、11月16日には、金メダリストの小平奈緒さんをお迎えして「ながのアイススポーツデイ 2025」を開催しました。

今後もアイススポーツの推進に努めてまいります。

消防・救急体制の強化につきましては、高機能消防指令情報システムを12月2日から新システムに移行し、運用を開始します。新システムでは、24時間365日安定した稼働を維持するとともに、通報者のスマートフォンを活用し、映像を通して傷病者の状態や現場の状況を共有できるようになります。

また、来年2月には、須坂市・小布施町・高山村からの119番通報回線の切替えを行い、「長野須坂消防指令センター」として運用を開始します。

引き続き、迅速・的確な指令体制と広域的な災害対応力の向上に努めてまいります。

水道事業広域化につきましては、11月4日に開催した第6回上田長野地域水道事業広域化協議会において、今後の協議検討の指針となる基本計画が合意されました。

今後は、市議会水道事業広域化調査研究特別委員会の御意見を尊重し、市民の皆様の御意見もいただきながら、事業計画(案)の策定に取り組むとともに、引き続き、重要協議事項について優先的に協議検討を進めてまいります。

続きまして、「雇用や税収につながる産業づくり」に向けた施策・事業について申し上げます。

新たな産業の創出につきましては、N A S Cの実証プロジェクトとして、主にインバウンドスキーヤーを対象に、長野市をハブとして、周辺スキー場へアクセスする着地型ツアースタイル「SnowHUB NAGANO CITY プロジェクト」への支援を開始しました。旅行客の利便性向上など新たなビジネスモデルの検証を進めてまいります。

インバウンドの推進につきましては、今月、「訪日外国人旅行者をトラブルなく迎えるために」と題して、市内の飲食店や宿泊施設向けのセミナーを開催し、言語対応や食の対応など、具体的なヒントを得ていただく機会を設けました。

今後もこのような受入環境の整備に取り組んでまいります。

売れる農業の推進につきましては、9月以降、金沢、富山、大阪等で農産物の販売、P Rイベントを実施したほか、11月22日には、東京都豊島区のサンシャインシティにおきまして、松本市、上田市と合同で農産物販売に加え、観光、ふるさと納税、移住などのP Rをトップセールスとして実施しました。

また、本日から12月2日まで、千葉県船橋市の東武百貨店において、「長野物産展」を開催しています。今後も本市が良質な果樹産地であることの認知度向上と定着化を図り、売れる農業の推進に取り組んでまいります。

以上、本年度の主な施策・事業の動向について申し上げます。

V むすび

最後に、令和9年に開催される善光寺御開帳について申し上げます。

昨日26日に「善光寺御開帳奉賛会総会」が開催されました。総会では、役員の選任のほか、広報・誘客活動や諸行事などの事業計画や開催までのスケジュール、予算などについて協議・決定され、いよいよ本格的に善光寺御開帳に向けて動き始めます。

今回の善光寺御開帳は、令和9年4月4日から6月19日までの77日間ということで、記録が残る限り、前回令和4年に新型コロナウイルス対応で会期を延ばした88日間に次ぐ長さとなり、本市としましても、まちのにぎわいや経済効果、地域の活性化など大いに期待しているところであります。

これまでも本市では、広報誘客活動やまちのにぎわいづくり、渋滞対策などで善光寺御開帳奉賛会や関係する皆様と連携して取り組んでまいりました。

今回は、その取組をさらに発展させ、市内外の様々なプレイヤーと連携し、本市を含む周辺エリアが有する観光資源について、その本質的価値を最大限に引き出し、新たな魅力を付与することで、単に善光寺御開帳期間中の対応に終わることなく、善光寺御開帳終了後も増え続けるインバウンドをはじめ、国内外からより多くの皆様にお越しいただけるよう、取組を進めてまいります。

議員の皆様、また、市民の皆様には、引き続き市政運営にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本定例会に提出いたしました案件は、「令和7年度長野市一般会計補正予算」など議案38件、報告2件であります。

詳細につきましては、副市長から説明申し上げますので、十分な御審議をいただき、御決定を賜りますようお願い申し上げます。